

タラヨウの葉に感謝つづる



封筒に入れたタラヨウの葉を投函する子どもたち

「敬老の日」を前にした9月9日、橋本幼稚園の園児が祖父母へ感謝の気持ちをこめてお便りを作成。園近くの郵便ポストに投函しました。例年、往復ハガキを使い祖父母に感謝の気持ちを送っていました。今年は5歳児7人が、昔にハガキとして使われていたという「タラヨウ」の葉でお便りを作りました。タラヨウは、葉の裏に傷を付けると、その部分が黒く変わり、字が書けるため別名「ハガキの木」と呼ばれています。子どもたちは、竹くしを使い「いつもありがとう」「また会おうね」などのメッセージ

「また会おうね」園児が祖父母に



タラヨウの葉を手に笑顔の子どもたち

「無事」が届きますように」と、お願ひしながら投函しました。祖父母の似顔絵などを書きました。他の郵便物が汚れないよう透明の封筒に入れ、「無事」が届きますように」と、お願ひしながら投函しました。

緑のじゅうたんに大歓声

馬場市民公園を芝生化

馬場市民公園で市体育協会と市が協働で取り組んだ芝生化のお披露目を9月6日に行いました。招待された八幡幼稚園児約90人の歓声が、青々と茂った芝生の上に響きました。

芝生化は、転倒時のけが軽減、土砂の流出や地表の温度上昇を和らげる効果が期待できます。市体育協会が、素晴らしい環境でスポーツを楽しんでもらいたいと、市に提案したのがきっかけです。

6月下旬に苗の植え付け

を開始。芝刈り、散水や肥料やりなどの管理を続けて、見た目にも優しい青々とした芝がグラウンド一面に広がりました。

子どもたちはサッカーなどをしながら「とても気持ちいい」と、夢中でグラウンドを駆け回りました。

この日は国民文化祭のキャラクター「まゆまる」も参加。子どもたちと一緒に芝生の感触を楽しみました。

今後は10月上旬に冬芝の種をまき、養生させる予定です。



まゆまると芝生の上で遊ぶ子どもたち

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や広報誌についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

火災から文化財を守ろうと消防訓練に励む職員



火災から文化財を守れ！

松花堂庭園で消防訓練

松花堂庭園で「防災の日」の9月1日、松花堂職員でつくる自衛消防隊員と消防職員約40人が合同で消防訓練を行いました。

松花堂庭園内にある京都府指定文化財「摩崖茶室松花堂」から出火し、避難中に負傷者が出たとの想定。火災から文化財や来場者を守るため、避難誘導や消火活動に取り組みました。

初期消火の動作を確認後、隊員らは庭園入口まで避難。手順を確認しながら、きびきびと訓練に励みました。同時に駆けつけた消防職員が庭園内に放水しました。

上村消防署長は「今後も自衛消防隊員として何をすべきかを考えて、取り組んでほしい」と講評しました。

訓練後は、消火器の扱い方や防火管理の心得を学びました。万一に備え、防災への決意を新たにしました。

100歳をお祝い 明田市長 高齢者宅を訪問

9月18日、明田市長が今年度で100歳を迎えられる市民7人の自宅を訪れ、長寿をお祝いました。

今年の4月に100歳を迎えられた水瀬又次さんは、子ども3人、孫6人、ひ孫3人に恵まれました。

水瀬さんは、95歳くらいまで自転車に乗っていたほか、春になると自宅近くの竹林のタケノコを楽しみにしているなど、まだまだ元気いっぱいです。

市長が「これからもお元気でいてください」とあいさつし、記念品を贈りました。水瀬さんのお家族は「牛肉が大好きで、毎日ご飯をしっかり食べることが長寿の秘訣なのかもと話していました。」

9月1日現在、今年度で100歳を迎えられる高齢者は15人。市内の最高齢は106歳です。今年もたくさん素敵な笑顔が見られました。心からお祝い申し上げます。



和やかに明田市長と言葉を交わす新100歳の水瀬又次さん